SPI非言語 公式まとめシート

SPIの非言語で使う主な公式と、使うときのポイントを1枚にまとめました。例題と解き方は、Webの記事で解説しています。

分野	公式	ポイント
速さ	距離 ＝ 速さ × 時間 速さ ＝ 距離 ÷ 時間／時間 ＝ 距離 ÷ 速さ	単位（分速・時速、m・km）を先にそろえる
旅人算	出会う時間 ＝ 距離 ÷（速さの和） 追いつく時間 ＝ 差の距離 ÷（速さの差）	向かい合うなら和、追いかけるなら差
通過算	時間 ＝（列車の長さ ＋ トンネルなどの長さ）÷ 速さ	「完全に通過」は列車の長さも足す
流水算	上り ＝ 静水時の速さ − 川の速さ 下り ＝ 静水時の速さ ＋ 川の速さ	上りは遅く、下りは速い
割合	比べる量 ＝ もとにする量 × 割合	何を「もと（1）」にするかを先に決める
損益算	定価 ＝ 原価 ×（1 ＋ 利益率） 売値 ＝ 定価 ×（1 − 割引率）／利益 ＝ 売値 − 原価	利益率は原価がもと。「何の」1割引かに注意
濃度算	濃度（%）＝ 食塩の量 ÷ 食塩水の量 × 100 食塩の量 ＝ 食塩水の量 × 濃度 ÷ 100	食塩の量に注目。水を足しても食塩は変わらない
仕事算	全体の仕事 ＝ 1。1日にできる量を分数で表し、人数分を足す	分割払いも「総額 ＝ 1」で同じ考え方
集合	AまたはB ＝ A ＋ B −（AかつB） どちらでもない ＝ 全体 −（AまたはB）	ベン図をかいて整理する
場合の数	順列 nPr（順番を区別する） 組み合わせ nCr ＝ nPr ÷（r × … × 1）	委員長と副委員長は順列、代表2人は組み合わせ
確率	確率 ＝ あてはまる場合の数 ÷ すべての場合の数 少なくとも1回 ＝ 1 − 1回もない確率	「少なくとも」は反対から考える
平均	平均 ＝ 合計 ÷ 個数 全体の平均 ＝（人数 × 平均）の合計 ÷ 全体の人数	平均どうしを足して2で割らない

1 例題とセットで
公式を1つ覚えたら、例題を1問解いて「この形にはこの式」と結びつける

2 分数で計算
割り切れない小数より、分数のまま計算すると速く正確になる

3 推論は表で整理
公式がない推論は、条件を表や図に書き出して整理する

☐ 速さ ☐ 割合・損益 ☐ 濃度 ☐ 仕事算 ☐ 集合 ☐ 場合の数・確率 ☐ 平均 ☐ 推論　（覚えたらチェック）

© 2026 キャリアの鉄人（株式会社YBC） 個人の学習のためにご利用ください。無断での転載・再配布・販売を禁じます。
SPIは、株式会社リクルートマネジメントソリューションズの登録商標です。当サイトは同社とは関係がありません。